

兵庫県下の経済動向

平成23年4月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個人消費	4
設備投資	6
住宅投資	8
公共工事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信用保証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、持ち直しペースの鈍化した状態から徐々に脱しつつあったが、足もとにおいては、東北地方太平洋沖地震の影響がみられはじめている。

輸出向け需要は、アジア向けを中心に再び増勢が強まりつつある。設備投資は増加計画にある。個人消費は、持ち直しの動きがみられ、住宅投資も持ち直し基調にある。雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善の動きが続いている。一方で、公共投資は減少している。こうした中で、今回の地震以降、東日本地区への供給増を企図した生産積み増しの動きなどが一部にみられる一方、原材料・部品の供給制約などに伴う生産活動の低下や消費マインドの悪化など、企業・家計への影響がみられはじめており、先行きの不確実性は高まっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が東日本大震災で消費意欲が減退したため、8か月連続で前年を下回った。乗用車販売は、エコカー補助金終了の影響により、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車とも減少したことから、7か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォンの販売が引き続き好調な中で、薄型テレビやDVDレコーダーなどを中心に、全体として持ち直してきている。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、現時点では、2010年度に続き2011年度も増加する計画となっている。

住宅投資は、分譲が増加したものの、持家、貸家が減少したことから、全体では2か月連続で前年を下回った。

公共工事は、兵庫県、神戸市などが増加したものの、国などが減少したことから、4か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出がアジア、米国、EU向けが増加し、14か月連続で前年を上回った。また、輸入については4か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、輸送機械工業、一般機械工業、食料品工業などの上昇により3か月連続で上昇した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間および一人当たり名目賃金は前年を上回ったものの、常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数は前月と同数で、前年を下回り、負債総額は前月および前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向。

1月の兵庫DIは、先行指数100.0%、一致指数77.8%、遅行指数31.3%となった。

1月の兵庫CIは、先行指数99.2、一致指数94.6、遅行指数100.0となった。

兵庫DIは、先行指数および一致指数が2か月連続好不況の判断の分かれ目となる50%を上回り、遅行指数が7か月ぶりに50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数および一致指数が3か月連続で前月差増となり、遅行指数は3か月連続で前月差減となった。

県統計課は「足下の基調をあらわす指標が2か月連続で上昇するなど、改善に向けた動きもみられる。」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

2月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は101.4、前月比4.1%上昇。出荷指数は103.0、同7.5%上昇。在庫指数は110.5、同1.3%上昇。在庫率は112.1、同4.3%低下。生産指数、出荷指数は3か月連続で上昇、在庫指数についても3か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が9.2%増で15か月連続で上昇、出荷も9.5%増で15か月連続で上昇した。また在庫は9.8%増で7か月連続で上昇した。

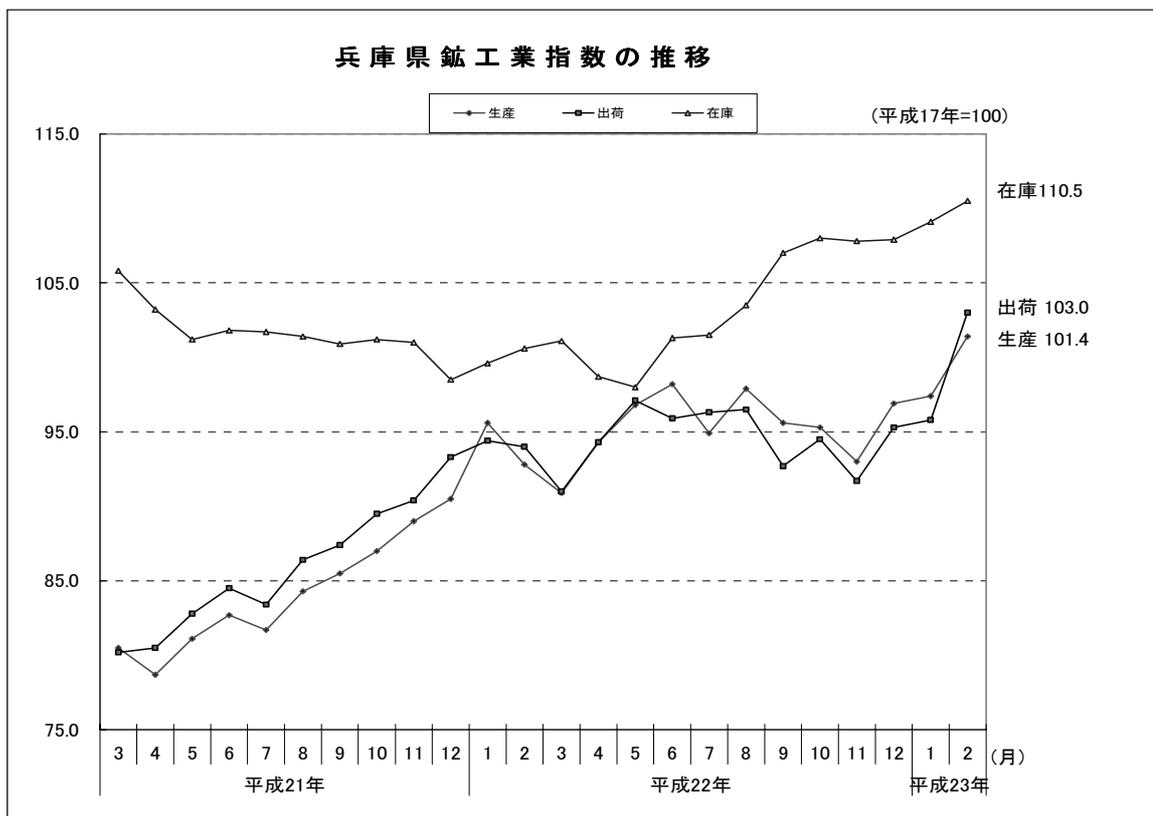
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、旅客車、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が13.3%、反応用機器等の「一般機械」が13.2%、砂糖、清酒等の「食料品」が7.9%、電界効果型トランジスタ等の「電子部品・デバイス」が3.3%、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械」が1.6%、鋳鉄管等の「鉄鋼」が0.6%、電力変換装置等の「電気機械」が0.5%、各々上昇したものの、石油化学品製造用触媒等の「化学」が8.8%、ガス温風暖房機等の「金属製品」が0.7%、各々低下した。

県統計課は、「総じてみれば兵庫県の生産活動は、横ばいで推移している」としている。

2月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数	対前月比増減(%)	原 指 数	
				対前年同月比増減(%)
生 産	101.4	4.1	97.0	9.2
出 荷	103.7	7.5	96.9	9.5
在 庫	110.5	1.3	112.7	9.8
在 庫 率	112.1	4.3	118.2	4.4

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



2月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	98.0	0.6	上昇	鋳鉄管、普通鋼鋼帯、H型鋼、普通鋼冷延広幅帯鋼
			低下	銑鉄、鋼半製品、粗鋼、普通鋼鋼板
金属製品	89.7	0.7	上昇	ガス風呂暖房機、PC鋼より線、薄板ばね、機械刃物、
			低下	ガス風呂がま、ガス湯沸器、橋りょう、石油温水給湯暖房機
一般機械	114.8	13.2	上昇	反応用機器、ショベル系掘削機械、一般用蒸気タービン、蒸気タービン部品
			低下	熱交換機、ダイカストマシン、コンベヤ、超硬ドリル
電気機械	118.9	0.5	上昇	電力変換装置、リチウムイオン蓄電池、開閉制御装置、クッキングヒーター
			低下	一般用タービン発電機、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、太陽電池モジュール、HIDランプ、内燃機関電装品
情報通信機械	99.5	1.6	上昇	パーソナルコンピュータ、固定通信装置、カーオーディオ、搬送装置
			低下	カーナビゲーション、テレメータ・テレコントロール、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、プリンタ
電子部品デバイス	171.5	3.3	上昇	電界効果型トランジスタ、シリコンダイオード、シリコントランジスタ(1W以上)、スイッチング電源
			低下	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、PDPモジュール、レーザダイオード、シリコントランジスタ(1W未満)
輸送機械	89.3	13.3	上昇	旅客車、船用ディーゼル機関、二輪自動車(125ml超)、特装ボデー
			低下	鋼船、機関部品、駆動伝道・操縦装置部品、シャシー・車体部品
化 学	91.7	8.8	上昇	石油化学品製造用触媒、溶剤系合成樹脂塗料、ポリスチレン、不飽和ポリエステル樹脂
			低下	化粧品、医薬品、塩化ビニル(モノマー)、無水酢酸
食 料 品	95.6	7.9	上昇	砂糖、清酒、めん類、牛乳
			低下	精米、米菓、肉製品、ビール類

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた3月の県内百貨店売上高は、前年同月比5.4%減の175億1800万円となり、8か月連続で前年を下回った。東日本大震災で消費意欲が減退したためで、昨秋以降底打ち感が出ていた県内消費は、震災で再び落ち込んだ格好となった。下げ幅は、リーマン・ショック直後の2008年10月（前年同月比8.6%減）に比べて小さいが、猛暑で秋物が苦戦した10年9月（5.1%減）以降で最大となった。

統計対象となる神戸、姫路地区の全店で前年実績を下回った。品目別では、水や米、カップ麺の買い占めなどもあり、食料品は前年並みを確保した店もあったが、衣料品は全店でマイナスだった。各店によると、震災直後は、神戸、姫路地区で客足、売上とも大幅に悪化。ある店長は「阪神・淡路大震災の被災地である兵庫の消費者は敏感に反応し、影響も全国の他店に比べて大きかった」と話した。ただ、4月に入ってからは、全店とも客足、売上高がいずれも回復傾向にあるという。

3月の県内百貨店売上高

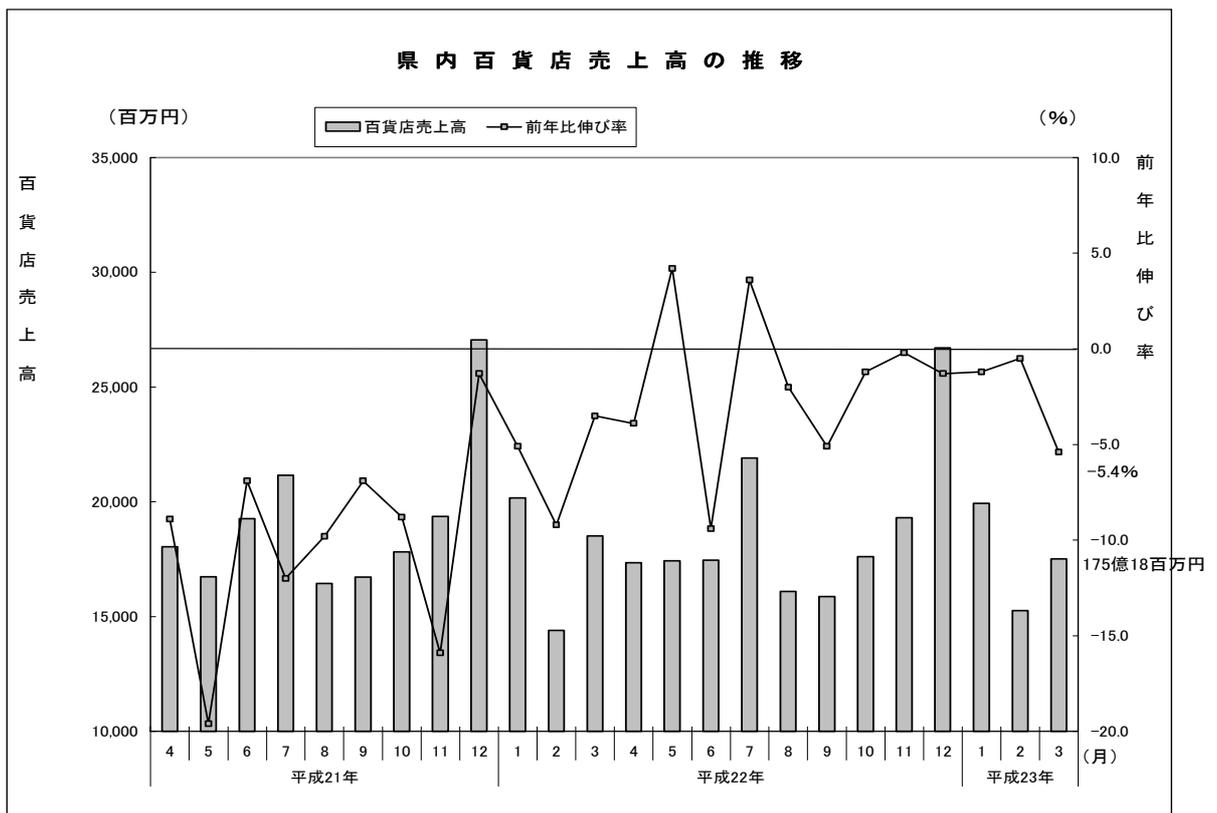
品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	698(3.3)	170(4.8)	869(3.6)
婦人服・洋品	4,148(8.4)	685(7.2)	4,833(8.3)
子供服・洋品	637(8.3)	121(5.1)	759(7.8)
身の回り品	1,517(11.0)	282(1.0)	1,800(9.6)
家庭用品	595(11.2)	156(2.9)	752(9.6)
食料品	4,206(0.5)	786(2.9)	4,992(0.9)
雑貨	2,058(2.7)	446(0.6)	2,505(2.4)
その他	709(3.5)	297(17.5)	1,006(8.1)
計	14,572(5.4)	2,946(5.3)	17,518(5.4)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。

*



【個人消費】『新車登録』

県内3月の乗用車新車登録台数は14,841台、前年同月比35.5%減と7か月連続で前年同月の実績を下回った。エコカー補助金終了の影響によるもの。

3月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,459台(前年同月比37.7%減)、小型乗用車は5,320台(同33.9%減)、軽乗用車は4,062台(同34.4%減)、乗用車合計で14,841台(同35.5%減)となった。

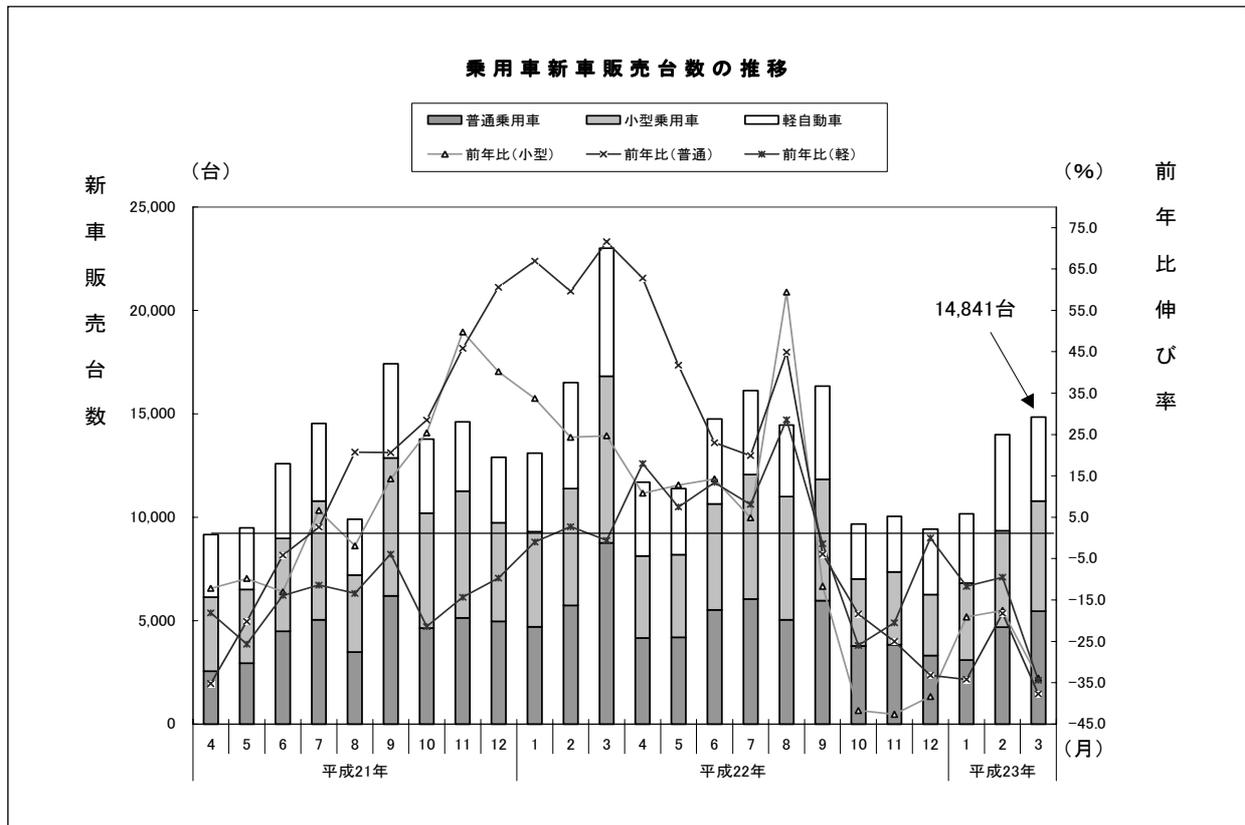
また貨物車等では、普通貨物車は434台(前年同月と同数)、小型貨物車は660台(同21.7%減)、軽貨物車は1,475台(同19.1%減)、バスは50台(同43.2%減)となった。

3月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,459	37.7	110,712	44.2
小型乗用車	5,320	33.9	133,071	34.9
軽乗用車	4,062	34.4	119,788	32.5
乗用車合計	14,841	35.5	363,571	37.4
普通貨物車	434	0.0	14,563	0.6
小型貨物車	660	21.7	19,006	18.4
軽貨物車	1,475	19.1	38,417	28.4
貨物車合計	2,569	17.1	71,986	21.3
バス	50	43.2	2,037	24.4
登録車総計	17,460	33.3	437,594	35.1

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が4月11日に発表した機械受注統計によると、平成23年2月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、23年1月前月比19.4%増の後、2月は同1.9%増の2兆5,397億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、1月前月比4.2%増の後、2月は同2.3%減の7,488億円となった。

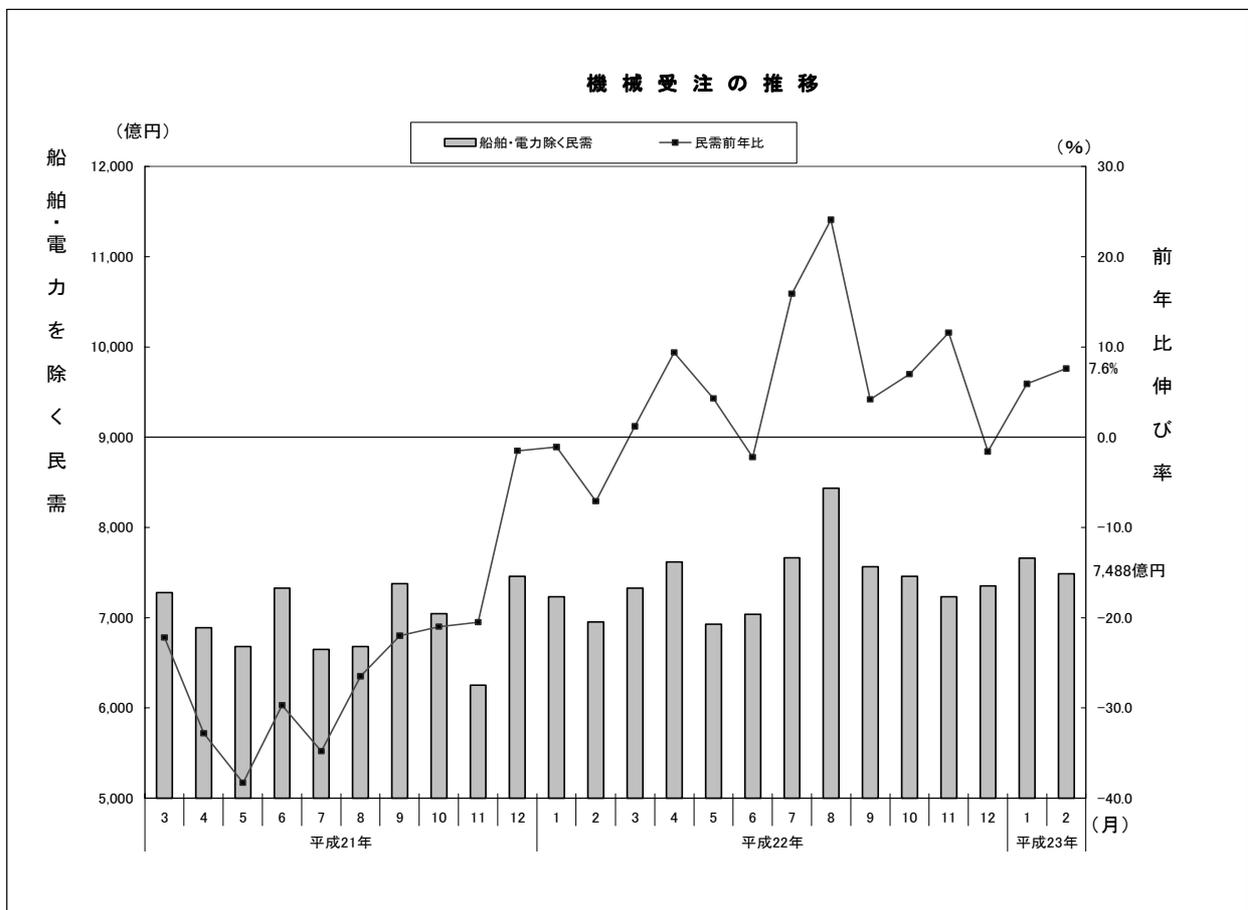
内訳をみると、製造業が同11.1%増の3,626億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同4.5%減の3,990億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品(53.3%増) 情報通信機械(43.3%増) 鉄鋼業(37.7%増) 非鉄金属(25.1%増)、電気機械(16.6%増) パルプ・紙・紙加工品(15.3%増)等の10業種で、その他輸送用機械(45.9%減) 金属製品(36.4%減) 造船業(36.1%減) 化学工業(14.2%減)等の7業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、鉱業(89.2%増) 電力業(83.5%増) 金融・保険業(32.0%増) リース業(6.3%増)等の6業種で、不動産業(47.5%減) 通信業(10.3%減) 卸売・小売業(5.4%減) 農林漁業(4.8%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2011年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2011年3月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+4.8%(製造業+10.7%、非製造業 11.6%)



機械受注統計（平成23年2月分）

	22年 1~3月 実績	22年 4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 実績	23年 1~3月 見通し	22年 11月 実績	12月 実績	1月 実績	2月 実績
受注総額	58,247 (9.0) [17.4]	55,988 (-3.9) [23.7]	62,207 (11.1) [24.8]	61,827 (-0.6) [15.1]	67,095 (8.5) [19.9]	19,587 (-8.3) [16.5]	20,876 (6.6) [8.8]	24,918 (19.4) [31.2]	25,397 (1.9) [31.4]
民需	25,854 (3.0) [0.2]	24,955 (-3.5) [-2.0]	29,212 (17.1) [15.3]	28,137 (-3.7) [12.5]	28,503 (1.3) [11.0]	8,205 (-6.3) [13.2]	11,171 (36.1) [16.9]	9,475 (-15.2) [13.1]	11,009 (16.2) [27.6]
” (Ex 船・電)	21,514 (2.9) [-1.8]	21,589 (0.3) [3.3]	23,662 (9.6) [13.0]	22,041 (-6.9) [4.9]	22,629 (2.7) [6.1]	7,230 (-3.0) [11.6]	7,353 (1.7) [-1.6]	7,661 (4.2) [5.9]	7,488 (-2.3) [7.6]
製造業	9,129 (14.2) [29.2]	8,342 (-8.6) [13.2]	9,357 (12.2) [34.3]	8,948 (-4.4) [11.6]	10,392 (16.1) [19.2]	3,101 (10.6) [25.0]	3,044 (-1.9) [8.3]	3,263 (7.2) [11.0]	3,626 (11.1) [18.0]
非製造業 (Ex 船・電)	12,471 (-3.7) [-15.0]	13,192 (5.8) [-2.4]	14,499 (9.9) [2.3]	13,040 (-10.1) [-0.3]	12,279 (-5.8) [-2.7]	4,132 (-10.5) [3.9]	4,292 (3.9) [-7.9]	4,178 (-2.7) [2.1]	3,990 (-4.5) [0.9]
官公需	6,861 (2.7) [-1.9]	6,845 (-0.2) [-4.8]	7,146 (4.4) [-10.1]	6,893 (-3.5) [2.6]	6,137 (-11.0) [-15.2]	2,383 (-1.6) [3.9]	2,089 (-12.3) [-7.9]	2,046 (-2.1) [-19.4]	2,159 (5.5) [0.7]
外需	22,275 (13.4) [72.2]	22,806 (2.4) [94.2]	23,919 (4.9) [54.1]	24,633 (3.0) [22.4]	31,474 (27.8) [53.0]	7,847 (-17.8) [24.4]	7,241 (-7.7) [3.5]	12,411 (71.4) [72.3]	11,161 (-10.1) [50.3]
代理店	2,356 (7.9) [12.6]	2,408 (2.2) [32.4]	2,457 (2.0) [22.1]	2,370 (-3.5) [8.4]	2,316 (-2.3) [4.6]	855 (18.1) [15.6]	792 (-7.4) [6.8]	889 (12.3) [15.3]	862 (-3.0) [8.7]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内2月の新設住宅着工戸数は、総数で2,615戸(前年同月比22.8%減)となり、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、全体では2か月連続で前年を下回った。また、前月比では383戸の増加となった。

2月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	862	2.8	22,126	6.0
・分譲住宅	1,088	12.0	18,844	44.2
貸家系・貸家	665	37.7	20,840	3.8
・給与住宅	0	100.0	442	52.0
総数	2,615	22.8	62,252	10.1

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

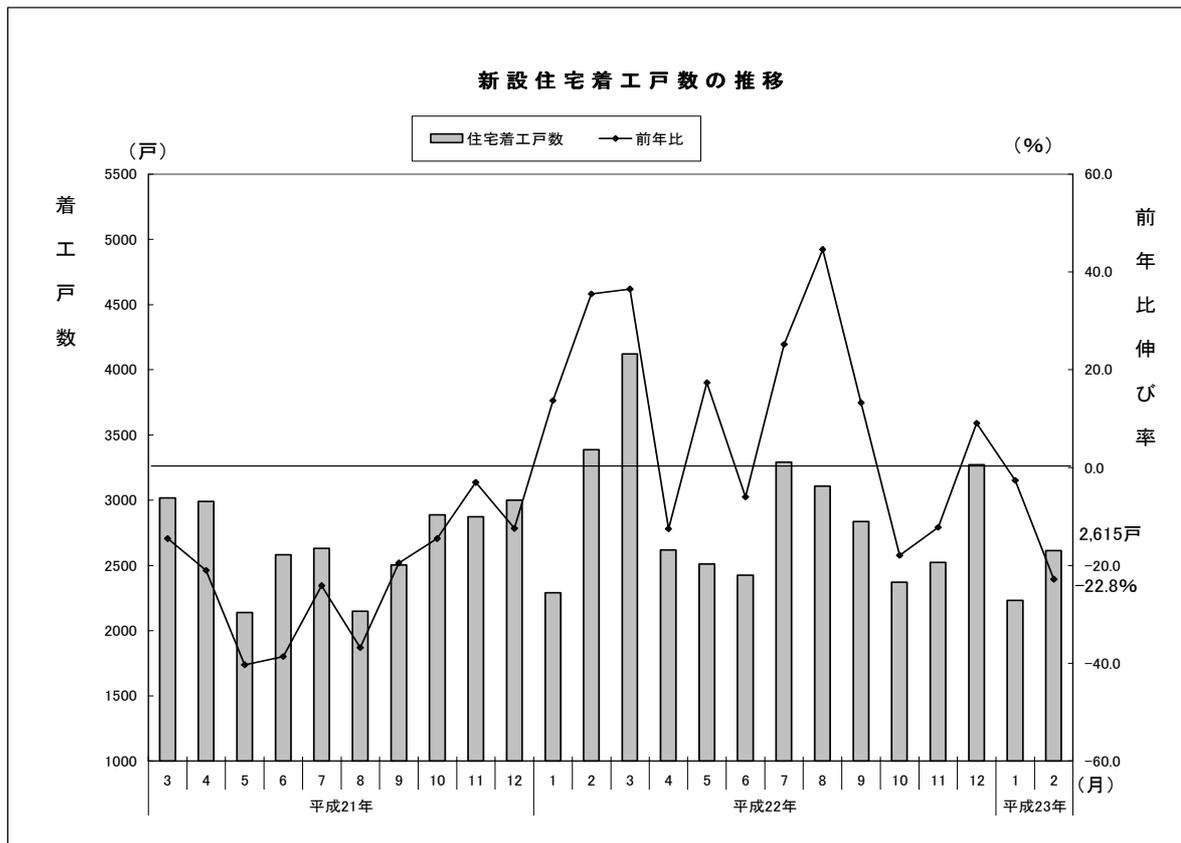
2月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	678	667	321	357	116	252	112	40	23	49	2,615
前月比	110	+215	-114	49	33	-1	50	19	14	8	383

資料：兵庫県住宅計画課

平成22年4月～平成23年2月の新設住宅着工累計は、総数で29,805戸、前年同期比371戸の増加となった。利用関係別では「持家」が10,409戸(前年同期比4.6%増)、「分譲住宅」が9,257戸(同5.7%増)、「貸家」が9,839戸(同2.6%増)、「給与住宅」が300戸(同73.6%減)となった。



【公共工事】

3月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は480件で前年同月比23.1%の減少、請負金額は345億91百万円で同42.6%の減少となり、金額ベースで4か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市を除く市町」が前年同月比45.2%、「兵庫県」同41.2%、「神戸市」同11.9%の増加となったものの、「国」同87.8%、「その他の団体」同67.9%、「独立行政法人等」同63.0%の減少となり、前年同月を下回った。

地域別(金額ベース)では、阪神南(前年同月比69.8%増) 西播磨(同55.9%増) 阪神北(同46.4%増) 丹波(同30.0%増) 中播磨(同10.8%増) 北播磨(同4.6%増)等で増加となったが、神戸市(同78.3%減)、東播磨(同35.0%減) 但馬(同28.5%減)では減少となった。

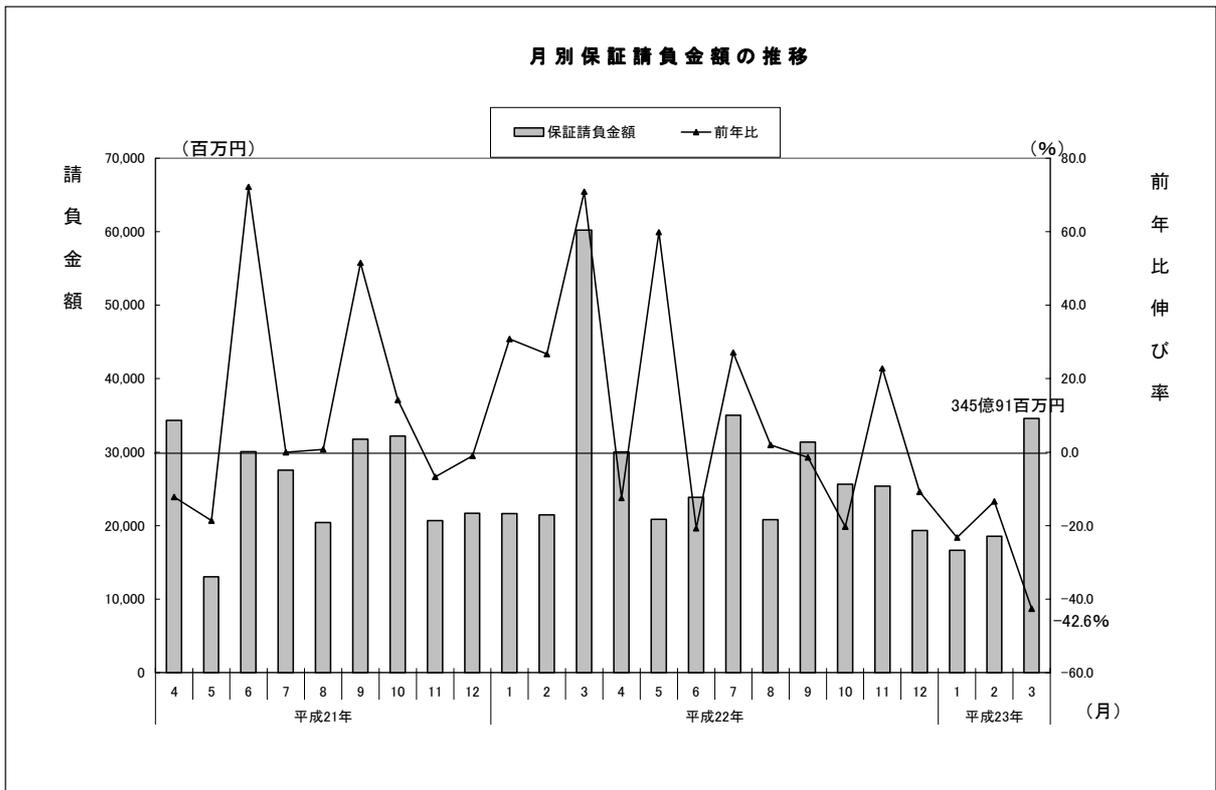
請負金額を平成22年度(22年4月~23年3月)の累計で見ると、3,021億65百万円となり、前年同期比9.8%の減少となった。

3月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	34(35.8)	4,017(87.8)	加古川中央JCT下部その他・ランプ改良工事
独立行政法人等	19(55.8)	1,715(63.0)	第二神明道路須磨本線料金所他料金収受機械改造等工事
兵庫県	254(9.3)	13,836(41.2)	兵庫東流域下水汚泥広域処理場機械設備工事
神戸市	52(31.6)	5,059(11.9)	デザイン・クリエイティブセンターKOB E整備工事、大容量送水管(奥平野工区)整備工事
神戸市を除く市町	110(26.7)	9,298(45.2)	たつの市立御津病院新病院建設工事
その他の団体	11(50.0)	664(67.9)	
合計	480(23.1)	34,591(42.6)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成23年2月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,257億円、前年同月比17.2%の増加で、総額ベースで14か月連続の増加となった。輸出は、自動車などが減少したものの、建設用・鉱山用機械、半導体等製造装置などが増加した。一方輸入は、衣類及び同付属品などが減少したものの、有機化合物、非鉄金属などが増加した。

輸出は4,458億円(前年同月比20.6%増加)と14か月連続で前年を上回った。

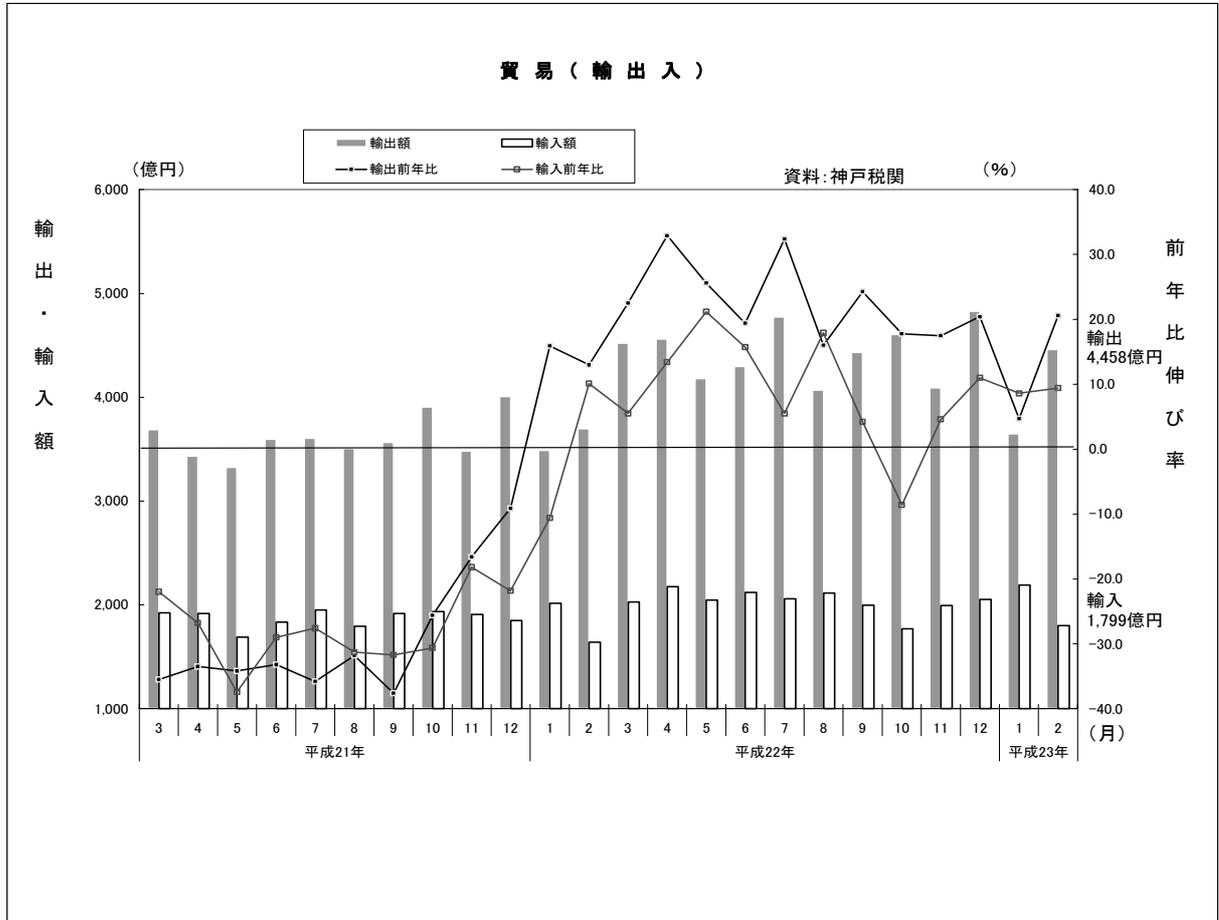
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比19.2%増、2か月ぶりにプラス)、原動機(同16.9%増、2か月ぶりにプラス)、プラスチック(同13.4%増、2か月ぶりにプラス)、建設用・鉱山用機械(同53.9%増、14か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同28.2%増、2か月ぶりにプラス)、中国(同47.7%増、2か月ぶりにプラス)、米国(同7.8%増、14か月連続プラス)、EU(同19.1%増、8か月連続プラス)向けが各々増加した。

輸入は1,799億円(前年同月比9.4%増加)と4か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比33.0%減、8か月連続マイナス)が減少したものの、たばこ(同29.9%増、5か月ぶりにプラス)、非鉄金属(同39.6%増、13か月連続プラス)、有機化合物(同51.2%増、13か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同0.5%増、4か月連続プラス)、中国(同5.5%減、4か月ぶりにマイナス)、米国(同13.0%増、2か月ぶりにプラス)、EU(同23.0%増、2か月連続プラス)向けが増加した。



【物 価】『消費者物価』

3月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.2(平成17年=100)となり、前月比は変わらず、前年同月比は0.4%上昇した。生鮮食品を除く総合指数は99.0となり、前月比、前年同月比とも0.3%上昇した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.6となり、前月比は0.2%上昇し、前年同月比は0.5%上昇した。

前月からの動きを見ると、野菜・海藻などの値下がりにより「食料」が0.8%、家賃の値下がりにより「住居」が0.5%下落した。しかしながら、衣料などの値上がりにより「被服及び履物」が4.4%、自動車等関係費などの値上がりにより「交通・通信」が1.1%上昇した結果、総合指数では前月比変わらずとなった。

3月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.2	101.4	99.6	102.6	87.8	95.2	97.9	99.2	98.0	94.2	106.2	99.0	97.6
前月比	0.0	-0.8	-0.5	0.3	-0.6	4.4	0.0	1.1	0.0	-0.1	0.4	0.3	0.2
前年同月比	0.4	-0.1	0.6	0.5	-2.7	4.4	-0.5	0.6	-3.9	-0.3	6.1	0.3	0.5

(注)平成17年=100

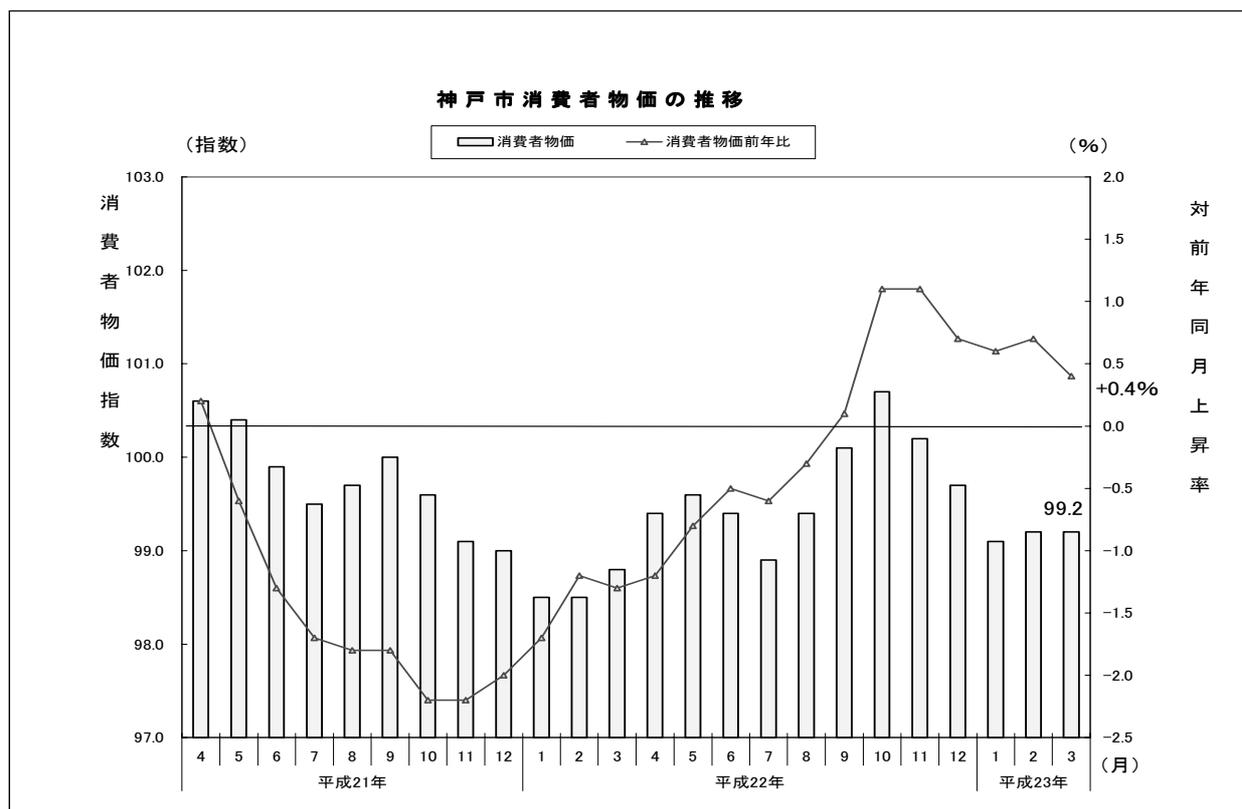
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

- 衣料 (+ 9.6%)・・・婦人スーツ(春夏物)、女兒スカート
- 自動車等関係費 (+ 2.4%)・・・ガソリン(レギュラー)

対前月比値下がりした主な品目

- 野菜・海藻 (3.2%)・・・ほうれんそう、ブロッコリー、レタス
- 家賃 (0.5%)・・・民営家賃(非木造中住宅)



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が4月13日に発表した、企業物価指数(速報)による2011年3月の実績は次のとおり。

3月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	104.7	0.6	2.0
輸 出 物 価	86.1	0.1	2.2
輸 入 物 価	114.7	1.5	9.4

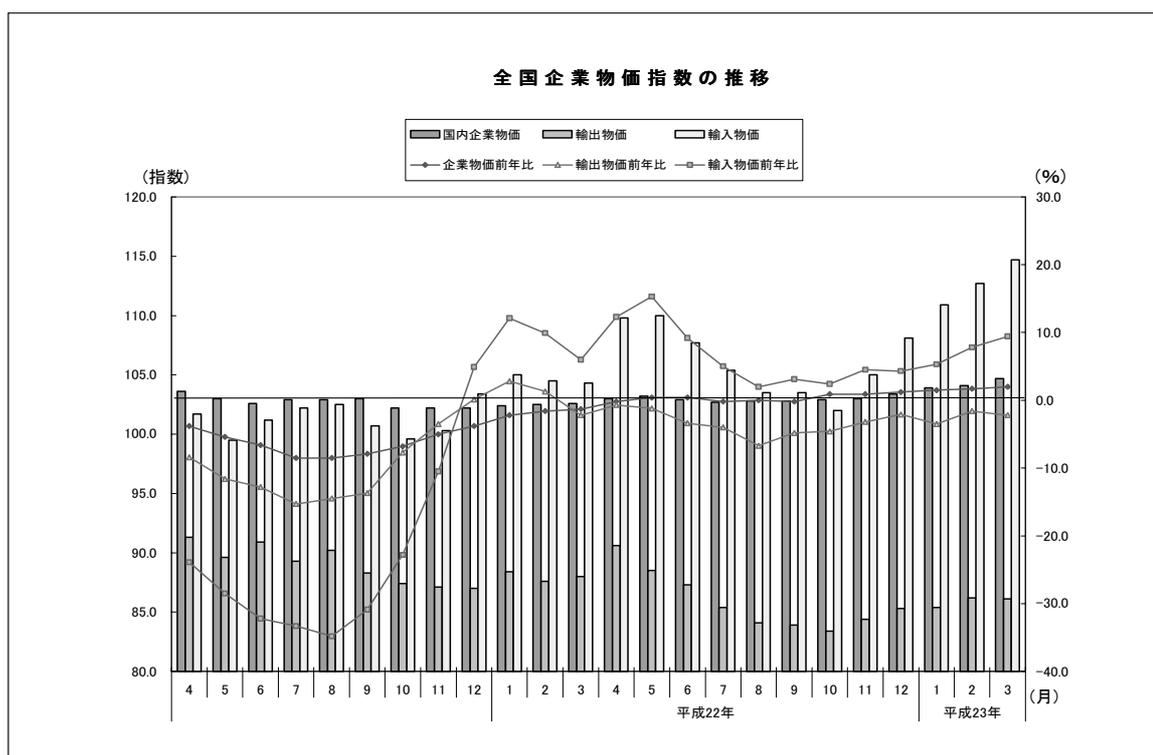
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、石油・石炭製品(前月比+6.0% <ガソリン、軽油など>)、繊維製品(同+1.0% <錦糸、女子用スーツ・スカート類など>)、製材・木製品(同+0.9% <普通合板、床板など>)、化学製品(同+0.7% <合成ゴム、ベンゼンなど>)、鉄鋼(同+0.5% <小型棒鋼、ステンレス鋼板など>)等が上昇、スクラップ類(同-1.5% <鉄くずなど>)、非鉄金属(同-0.4% <銅地金など>)等が下落し、全体では前月比0.6%の上昇となった。

前年同月比では、海外市場での原油など素材価格の値上がりにより、2.0%の上昇となった。上昇率は2008年11月以来、2年4か月ぶりの高い伸び率となった。

輸出物価は、繊維品(前月比+2.5% <アクリル短繊維、合繊維物など>)、化学製品(同+1.0% <塩化ビニルモノマー、パラキシレンなど>)、金属・同製品(同+0.2% <金地金、熱延広幅帯鋼など>)等が上昇したものの、電気・電子機器(同-1.2% <集積回路など>)、その他産品・製品(同-0.1% <経由、C重油など>)等が下落し、円ベースでは前月比0.1%の低下(前年同月比-2.2%)となった。

輸入物価は、木材・同製品(前月比+5.1% <合板など>)、石油・石炭・天然ガス(同+4.3% <原油、液化石油ガスなど>)、食料品・飼料(同+0.7% <とうもろこし、調整うなぎなど>)、化学製品(同+0.3% <汎用プラスチックなど>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.5%の上昇(前年同月比+9.4%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内2月の新規求人数(全数)は、24,707人(前年同月比14.2%増、前月比4.9%減)で、10か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は63,476人(前年同月比19.7%増、前月比4.7%増)で10か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比15.9%増で12か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同12.9%増で10か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同3.7%増で4か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比22.3%増)、製造業(同17.4%増)、情報通信業(同2.3%増)、運輸業、郵便業(同19.5%増)、卸売業、小売業(同18.8%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同20.2%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同4.8%増)、教育、学習支援業(同32.4%増)、医療、福祉(同9.6%増)、サービス業(同16.9%増)は前年を上回ったが、宿泊業、飲食サービス業(同4.6%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

2月の新規求職申込件数(全数)は、25,167件(前年同月比4.0%減、前月比2.7%減)で、5か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は100,637人(前年同月比8.4%減、前月比3.6%増)で9か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比5.1%減で11か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同1.1%減で3か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比35.3%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、無業者は同31.0%増で21か月連続して前年を上回ったが、在職者は前年同月比0.9%減で4か月ぶりに、事業主都合離職者は同21.0%減で14か月連続して、自己都合離職者は同8.3%減で9か月連続して、自営・他は同16.1%減で5か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、24,841人(前年同月比16.8%減)で、12か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

2月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.94倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.59倍で前月より0.02ポイント改善した。

(4) 失業者の状況

2月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.6%で前月より0.3ポイント低下し、完全失業者数(原数値)は300万人(前年同月差24万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.5%(前年同月差0.4ポイント低下)で、完全失業者数(原数値)は56万人(前年同月差5万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
23年2月	24,707	1,700	2,897	308	1,311	4,156	211	406	858	1,416	941	5,898	2,848
前年同月比	14.2	22.3	17.4	2.3	19.5	18.8	42.6	23.3	20.2	4.6	4.8	9.6	16.9

(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項 目 ・ 年 月	10/1-3	10/4-6	10/7-9	10/10-12	10/12	11/1	11/2
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.44	0.48	0.51	0.54	0.54	0.57	0.59
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	2.2	5.4	11.2	14.5	11.2	14.9	14.2
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	5.6	13.2	14.7	12.5	11.9	7.4	5.8
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.5	1.1	1.2	0.6	0.6	1.2	1.4
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.7	0.7	0.0	1.7	2.3	0.9	0.3

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部

【信用保証】

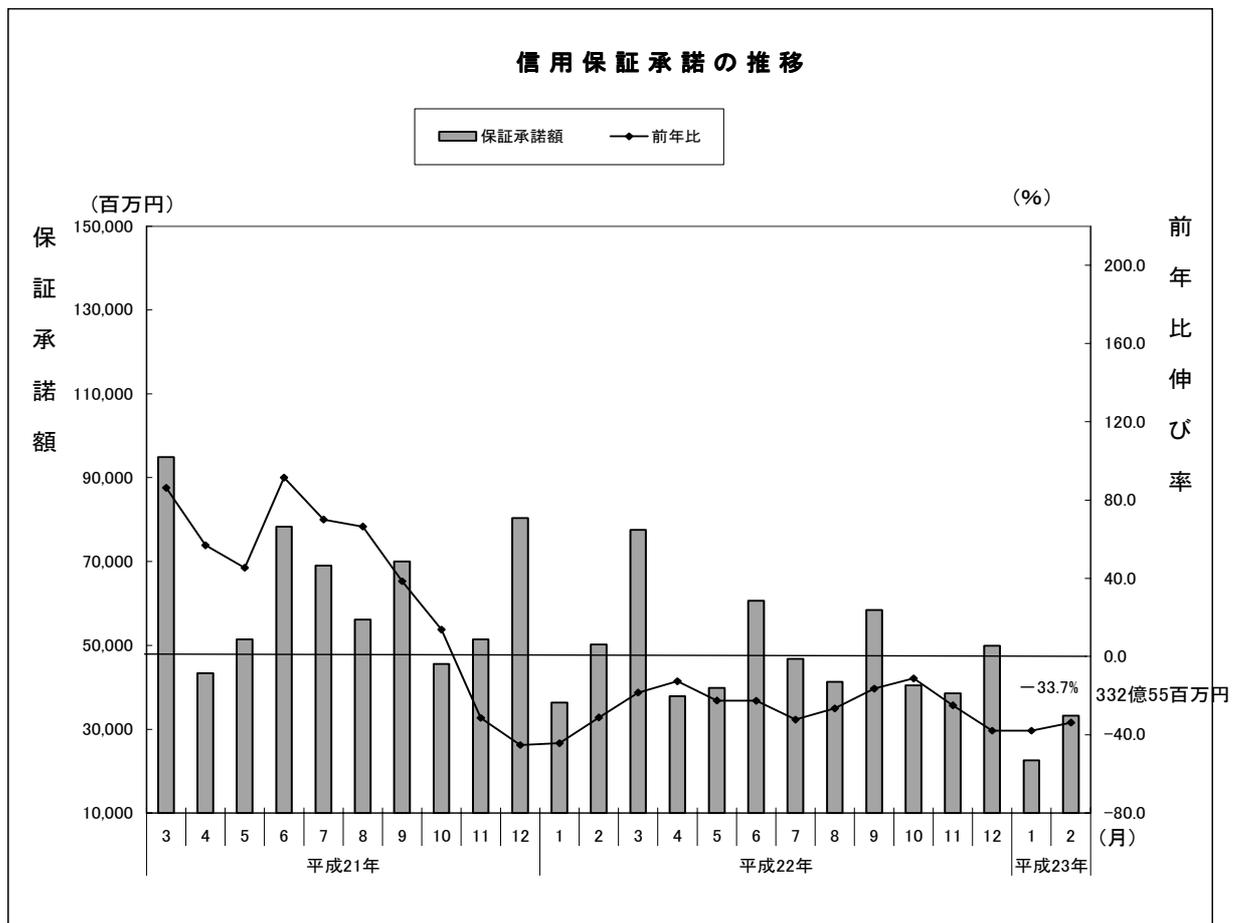
兵庫県信用保証協会による2月の保証承諾実績は、件数で2,154件(前年同月比21.7%減)、金額は332億55百万円(同33.7%減)となり、16か月連続で前年実績を下回った。

平成20年10月末導入の緊急保証制度の承諾が高水準で推移していた反動により、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」1,645百万円(前年同月比10.3%減)、「運送・倉庫業」1,840百万円(同19.2%減)、「小売業」4,002百万円(同27.0%減)、「製造業」6,821百万円(同31.8%減)、「卸売業」6,600百万円(同34.8%減)、「飲食店」772百万円(前年同月比35.1%減)、「建設業」8,032百万円(同39.1%減)、「サービス業」3,434百万円(同43.0%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、381件(前年同月比19.8%増)、46億31百万円(同0.4%減)となった。

2月末の保証債務残高は、117,940件(前年同月比2.6%減)、1兆4,466億89百万円(同1.6%減)となった。



【金融】

2月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り(単位:億円、前年同月比増減・%)。

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	137,692	1.7	57,186	1.1
地方銀行	23,437	1.3	19,244	0.8
第二地方銀行	30,491	1.0	19,846	2.6
信用金庫	77,986	1.8	38,409	1.3
その他	16,412	4.1	16,767	0.9
計	286,018	1.7	151,452	0.9

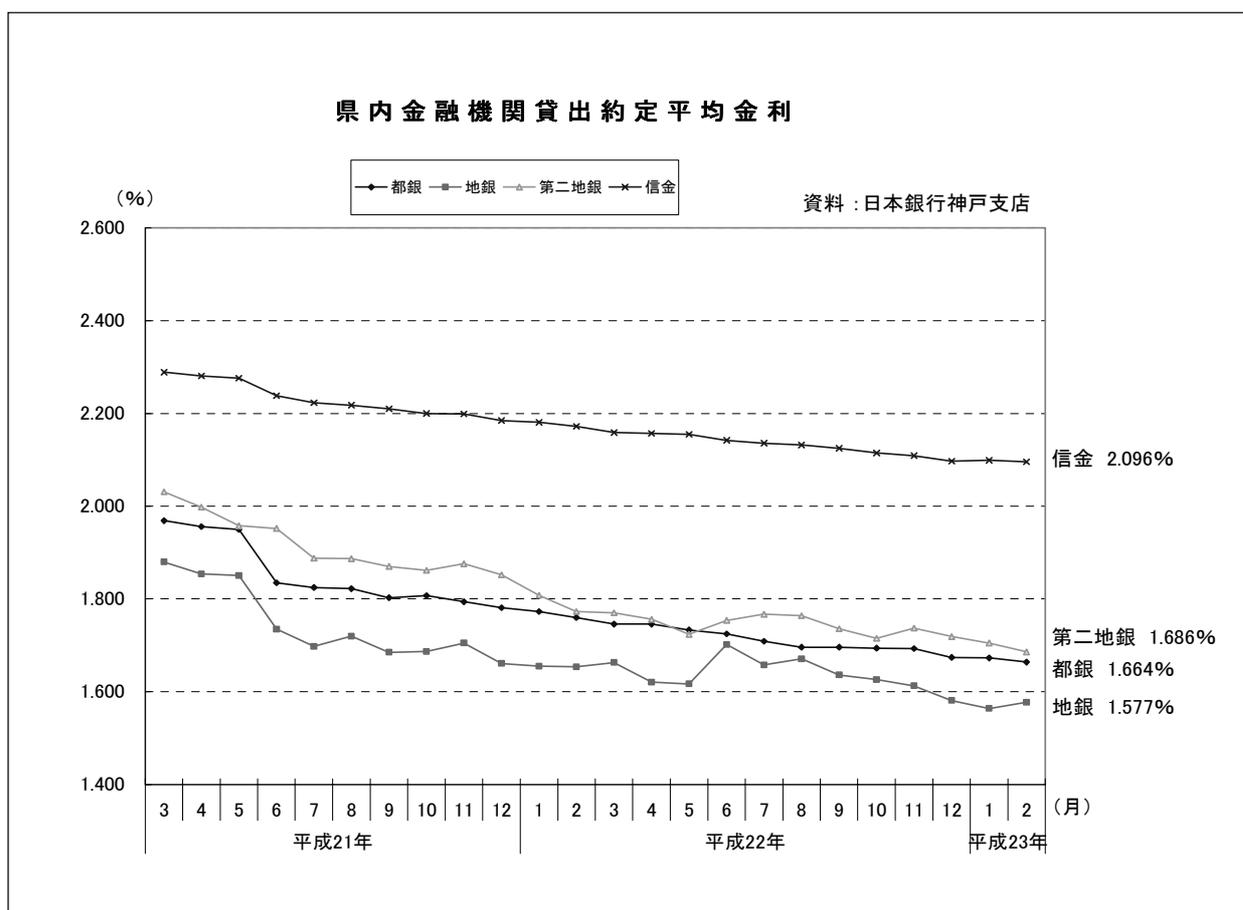
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

2月の預金は、前年を上回って推移している。

2月の貸出は、前年を下回って推移している。

2月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(2月末水準 1.807%、前月比 0.007%ポイント)。



【倒産】

県内3月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は55件で前年同月比24.7%減少、負債総額は64億57百万円で同50.6%の減少となった。倒産件数は、前月と同件数であったが、前年同月比では18件の減少となり、前年の月間平均件数60.8件と比較すると5.8件の減少となった。負債額1億円未満の小口倒産は42件で全体の76.4%を占めている。

原因別(件数)では、販売不振が35件(全体の63.6%)と前月と同件数で、当月もトップ。2番目は不良債権発生、赤字累積が共に5件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等「不況型」倒産は41件と前月比1件の減少となり、構成比は74.5%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス他業が16件(全体の29.1%)と最も多く、2番目は食品業15件、次いで建設業が13件、繊維・染色業、運輸・通信他業が共に4件と続いている。

兵庫県下の3月の企業倒産件数(負債総額1千万円以上)は55件で、3月単月では直近3年間において70件台の倒産件数を記録してきたが、4年振りに50件台に落ち着いた格好となった。

日本銀行神戸支店が4月1日に発表した「管内金融経済概況」によると、「持ち直しペースの鈍化した状態から徐々に脱しつつあったが、足もとにおいては、東北地方太平洋沖地震の影響が見られはじめている」としている。

「資本金別」では、「個人企業」が23件と前月と同件数で当月もトップ、次いで1百万円以上が15件となった。「産業別」では、「サービス・他業」が19件とトップ、次いで「建設業」が13件となった。現時点において今回の震災・被災による県下企業への具体的な影響は測り難く、被災地向けへの食料品・日用耐久消費材等の供給に対して増産の動きが見られるものの、一方では大手企業の操業停止・延期、これに伴う部材調達の困難さ、また、イベント自粛等に伴う消費マインドの冷え込みや雇用・採用面への影響など幅広い部分におけるマイナス要因が懸念されている。確かに3月単月で見ると、資金需要が高まる年度末に、倒産件数及び負債総額は落ち着いたが、今般の震災の影響は今後の景気動向に中長期に亘って厳しさが懸念され、年初から顕著となってきた原材料関連の全般的な資材高傾向等も考慮すると、引き続き、注視が必要と考えられる。

3月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	1	3	-2	6	-3	金属・機械・電気	2	3	-1	9	-6
過小資本	4	3	1	2	1	化学・薬品	0	0	0	1	-1
連鎖倒産	5	3	2	4	-1	ゴム・皮革・ケミカル	0	0	0	3	-3
赤字累積	5	6	-1	4	2	食品	15	13	2	14	-1
販売不振	35	35	0	56	-21	建設	13	15	-2	18	-3
売掛金回収難	1	1	0	0	1	不動産・サービス	16	12	4	16	-4
その他	4	4	0	1	3	運輸・通信他	9	12	-3	12	0
合計	55	55	0	73	-18	合計	55	55	0	73	-18

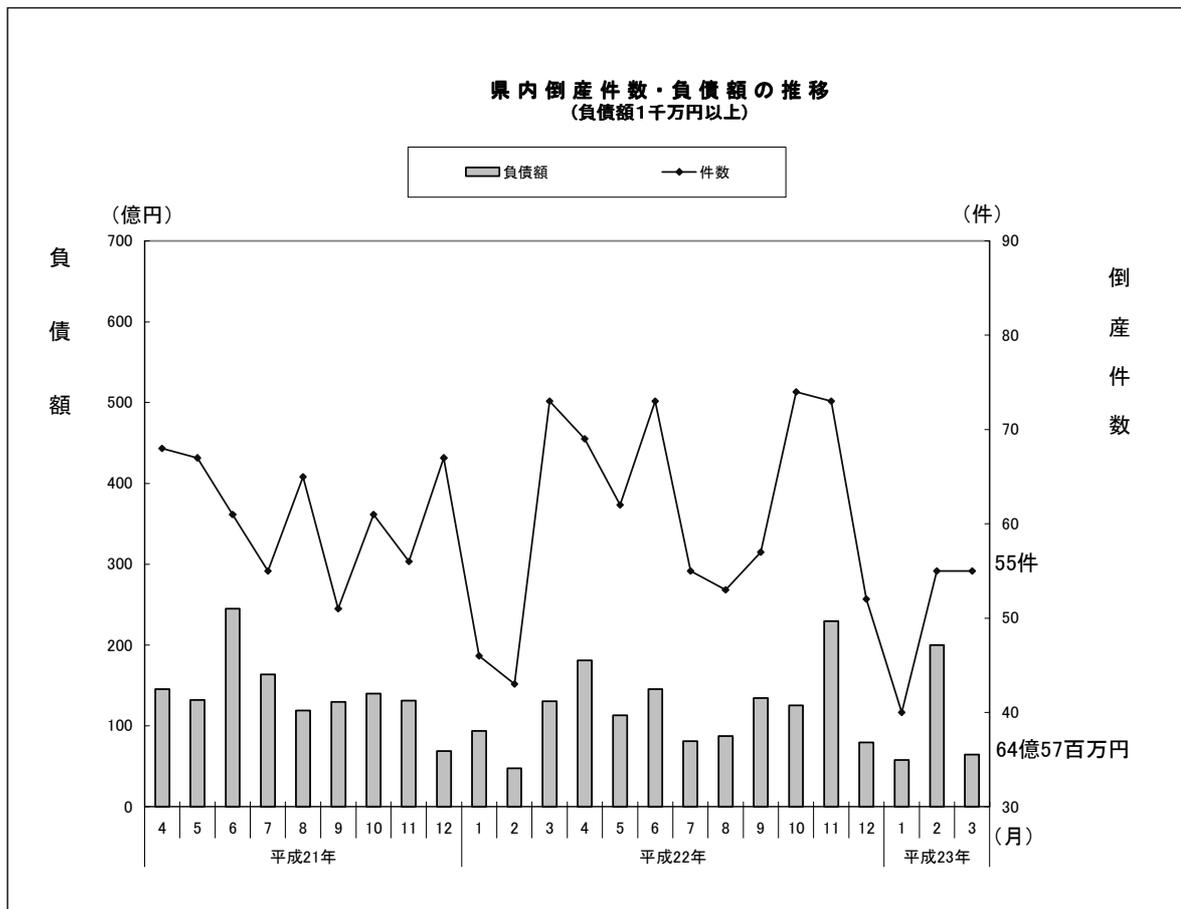
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 1月	40	6	15	7	10	2	0	0
23年 2月	55	16	14	14	6	2	2	1
23年 3月	55	16	20	12	5	1	1	0

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%	(億円)		%	%	(戸)	%	%
22年 1月	95.6	1.7	92.1	2.7	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.8	1.2	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	96.8	2.4	96.1	0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5
9月	95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7
10月	95.3	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4
11月	93.0	-2.3	91.8	1.0	254	22.8	-6.8	2,522	-12.2	6.8
12月	96.9	3.9	94.8	3.3	194	-10.8	-18.1	3,273	9.1	7.5
23年 1月	r 97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
2月	p 101.4	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
3月					346	-42.6	-3.5			
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
		(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6	
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1	
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5	
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4	
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2	
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7	
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5	
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9	
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	4,431	24.3	1,998	4.2	
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	4,606	17.9	1,771	-8.5	
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2	-0.4	4,092	17.5	1,997	4.6	
12月	9,426	-26.9	-25.5	267	-1.3	-1.5	4,827	20.4	2,053	11.0	
22年 1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	r 3,650	4.7	r 2,191	8.6	
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	p 4,458	20.6	p 1,799	9.4	
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4						
4月											
5月											
6月											
7月											
8月											
9月											
10月											
11月											
12月											
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関				

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (17年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	99.4	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	99.3	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	99.6	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	99.6	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	99.7	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	99.7	-0.7
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.2	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.4	-0.3	99.5	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.1	0.1	99.8	-0.6
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	100.7	1.1	100.2	0.2
11月	0.53	0.57	1,007	0.2	98.3	0.6	100.2	1.1	99.9	0.1
12月	0.53	0.57	1,004	-0.1	98.0	0.7	99.7	0.7	99.6	0.0
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	96.5	0.1	99.1	0.6	99.4	0.0
2月	0.59	0.62	998	0.1	96.7	0.0	r 99.2	0.7	99.3	0.0
3月							p 99.4	0.4		
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.2	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	102.9	-0.2	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	102.9	0.9	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18
11月	103.0	0.9	150,620	-1.0	1.566	73	230	29	22	22
12月	103.4	1.2	152,555	-0.8	1.551	52	80	18	20	14
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	r 104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	p 104.7	2.0				55	65	16	20	19
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値